

かぜ症状に使う生薬（解熱鎮痛薬、咳止め、鼻炎薬、うがい薬）と小児鎮静薬

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
1	解熱鎮痛薬	ボウイ/防己		ボウイ（ボーイ：男の子）＝小便小僧のイメージ メインの作用は水を取る作用→利尿作用、関節痛改善（ひざの水を取る）
2	解熱鎮痛薬、風邪薬	カクコン/葛根	葛（クズ）の根。	葛湯（くずゆ）→熱さまし 葛湯は昔から風邪の時に解表薬として使用されている ※解表薬：発汗させて熱を下げる薬
3		ショウマ/升麻	升：「昇る」の意。下垂した内臓を活性化し上げる。 麻：麻の葉に似ていることから。	気を上げて発散→解表薬
4		ジリュウ/地竜	地の竜＝ミミズ	みみず→ひんやりしているイメージ→解熱剤
5		ボウフウ/防風	「風邪を防ぐ」の意。	その名の通り、解表薬。
6	解熱鎮痛薬、痔用薬（内用）	サイコ/柴胡	柴：根が紫色（昔は柴ではなく紫という字だった） 胡：西方の異民族を指す。例）胡椒、胡桃	炎症を起こして紫色になった患部に使うイメージ→抗炎症剤
7	解熱鎮痛薬、婦人薬、胃腸鎮痛鎮痙剤	シャクヤク/芍薬		美人を形容する「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」という言葉は元々生薬の働きを表している。 芍薬：気が立ってかかっている女性の痛みや筋肉のこわばりを取る。
8	解熱鎮痛薬、婦人薬、内用痔用薬	ボタンピ/牡丹皮		牡丹皮：お血が原因でベタンと座ってばかりいるような女性の諸症状を改善する。
9	催眠鎮静薬	カノコソウ/鹿子草	花の蕾を上から見ると、染め物の「鹿の子絞り」に似ていることから。	鹿＝おとなしいイメージ＝鎮静剤
10		サンソウニン/酸棗仁	酸っぱいなつめ（棗）の種子（仁） サネト（核太） ナツメ：果実の核が大きいという意味	酸味→緊張緩和 大棗[70]はナツメの果実、酸棗仁 [10] はサネトナツメの種子である。
11		チャボトケイソウ	花が時計に似ていることから。	時計→体内時計→鎮静、催眠作用 別名パッションフラワー、パッションフローラ。OTC医薬品のイララックやパンセガンなどに含まれる。
12		チョウトウコウ/釣藤鈎	フック（カギまたは鈎）状のとげがあることから。	とげ→痛みや気持ちをとげで制する→鎮痛剤
13		ホップ		ビールの香りづけのために使われる。
14	小児鎮静薬、強心薬	ジャコウ/麝香	麝の字は鹿と射を組み合わせたもの。	鹿＝おとなしいイメージ＝鎮静作用 ジャコウ＝ムスク：シャネルNo.5の香り。
15		ジンコウ/沈香	生薬として使われる樹脂が水より重くて沈むことから。	沈むイメージ＝鎮静作用 科名のジンチョウゲは漢字で沈丁花と書くので合わせて覚えよう。
16		レイヨウカク/羚羊角	サイカレイヨウという動物の角。	羚羊（ウシ科の動物）→おとなしいイメージ→鎮静剤
17	強心薬	リュウノウ/竜腦	昔は金と同じぐらいの価値のあった、香り高い生薬。	竜の脳→脳がすごい働きそうなイメージ→中枢神経興奮作用、消炎、鎮痛 唯一「気付け」の適応がある。
18	小児鎮静薬、強心薬、滋養強壮保健薬	ゴオウ/牛黄	牛黄：牛の胆石が黄色いことから。	胆石→石や貝(Ca)→ずっしりしている→鎮静作用 例）牡蛎[39]、真珠[61]
19	風邪薬、鎮咳去痰、鼻炎薬	マオウ/麻黄	麻：食べると舌が麻痺することから。 黄：マオウが黄緑色のため。	麻黄（エフェドリン）は覚醒剤原料となる→交感神経興奮薬

20	風邪薬、鎮咳去痰、鼻炎薬、胃腸薬、甘味料	カンゾウ/甘草	甘草：噛むと甘いことから。別名リコリス、グリチルリチン。	甘草→肝臓→肝機能を高める→抗炎症剤
21	鎮咳去痰薬	オンジ/遠志	「志を遠大にする（強くする）」の意。	意識をはっきりさせる→去痰薬、記憶力改善薬
22		セネガ/美遠志（中国語）	北米原住民のSeneka族から。美：中国語でアメリカの意。	インディアンのSeneka族が毒へじにかまれた時に救急的に使用しており、その後去痰作用があることが判明。主成分はサポニン。
23		オウヒ/桜皮	桜の木の皮。	
24		シャゼンソウ/車前草	牛車や馬車が通る道ばたに多く生えていることから。	負傷兵が逃走中に、馬と共に血尿になった。数日後馬だけ回復し、馬の周りの草がなくなっていた。この出来事で車前草に利尿作用があることが判明した。「去痰や利尿など不要物を外に出す作用がある」と覚える。
25		セキサン/石蒜	石蒜はヒガンバナの別名。	セキサンの「セキ」→咳→去痰作用
26		キキョウ/桔梗	「根が結実して硬い」の意。	サポニンが含まれ、鎮咳去痰薬として使われる。トローチ剤に含まれていることもある。
27		キョウニン/杏仁	あんず（杏子）の種子（仁）。	鎮咳作用があるが、多量服用で青酸配糖体のアミグダリン（バラ科の種子に含まれる）が胃液と反応し呼吸困難となる。
28		ナンテンジツ/南天実		南天のと飴の名前の由来となった生薬。
29		バクモンドウ/麦門冬		冬は乾燥している→乾いた咳に使用 のどを潤し粘稠な痰を出しやすくする。
30		ハンゲ/半夏	夏の半ばに花が咲く（その頃に採取する）ことから。	俗にいう「いも」の部分（塊茎）を生薬とする。
31	鎮咳去痰薬、滋養強壮保健薬	ゴミシ/五味子	果実に「酸、甘、苦、辛、鹹」の五味があることから。ただし主体は酸味。	酸味には収斂作用がある。収斂作用＝血管収縮作用（炎症を取り咳をしずめる、鼻水を止めるなど）
32	鼻炎用内服薬	ケイガイ/荊芥	荊：とげの意。 芥：辛い意。カラシを漢字で芥子とも書く。	辛温解表薬。紫蘇の葉に似た香りがあり、薬効も紫蘇や生姜と同じである。 ※辛温解表薬：体を温めて汗をかき熱を発散する薬。
33		サイシン/細辛	細いひげ根を噛むと辛いことから。	辛温解表薬。「辛」の字のごとく、体をあたためることで頭痛や鼻炎を改善する。
34		シンイ/辛夷	辛：実をかむと辛いことから。 夷：「外国」の意。	辛温解表薬。「辛」の字のごとく、体をあたためることで頭痛や鼻炎を改善する。
35	鼻炎用内服薬、風邪薬	ヘラドンナ	ヘラ：美しい（妖怪人間ベムに出てくる「ヘラ」） ドンナ：淑女（マ・ドンナ：我が淑女の意）	イタリアルネサンス期に女性がヘラドンナの汁を点眼して目を美しく（大きく）見せたため、この名が付いた（抗コリン作用による散瞳）。
36	うがい薬、健胃薬	ウイキョウ/茴香	魚肉の「香り」を「回復」させるという意味の中国語名より。	別名フェネル。清涼感があるのうがい薬、香りが強い芳香性健胃薬としても使われる。
37	うがい薬、歯槽膿漏薬	カミツレ	カモミールのドイツ語読み（カミルレ）より。	カマズレン（カモミール＋アズレン）が主成分で、アズレンと同じく抗炎症作用を持つ。
38		ミルラ	昔ミイラ作りの遺体の防腐処理のためにミルラ樹脂が使用されており、ミイラの語源はミルラから来ているという説がある。	収斂作用（抗炎症作用）と抗菌（防腐）作用があり、口腔・咽頭症状に使われる。
39		ラタニア		タンニンを多く含み、収斂作用（抗炎症作用）と抗菌作用があり、口腔・咽頭症状に使われる。

胃腸症状に使う生薬

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
40	胃腸薬、制酸剤	ボレイ/牡蠣	カキ（牡蠣）の音読み。	制酸剤。炭酸カルシウムが成分の80～95%を占める。 鎮静作用もある。→【参考】牛黄[18]
41	苦味健胃薬 ※味覚（苦味）により反射的に唾液分泌や胃液分泌を促すため、オプラー ト使用不可	オウバク/黄柏	内皮部が黄色いため。科名の黄肌・木肌（キハダ）もそのままの意味。	黄色はベルベリン（苦味健胃薬）の色が由来。
42		オウレン/黄连	「黄」色い根茎が節状に「連」なることから。	
43		ゲンチアナ	紀元前500年頃のゲンチアナ王が使ったことから。	
44		センブリ/千振	「千回振り出しても（煎じても）まだ苦い」ことから。	この3種の苦味健胃薬はすべてリンドウ科の植物。
45		リュウタン/竜胆	「竜の胆のように根が苦い」。「リンドウ」はリュウタンの読みが変化したもの。	
46		ユウタン/熊胆	熊の胆汁の略。苦い。	
47	芳香性健胃薬 ※嗅覚（芳香）により反射的に唾液分泌や胃液分泌を促すためオプラー ト使用不可	ケイヒ/桂皮		シナモンのこと。独特な芳香がある。
48		コウボク/厚朴	ホウノキの名の由来：ホウは「包」で餅を香りのよい葉で包むことから	
49		ショウキョウ/生姜	生姜の音読み。	辛温解表薬。
50		ソウジュツ/蒼朮	朮：「オケラ」の意。根は黒く、青ではない。中国では白朮よりよく使われる。	補気薬。朮には蒼朮と[52]白朮がある。
51		チョウジ/丁子	丁は「釘」という意味。蕾の形が釘に似ていることから。英名はクローブで、仏語で釘はclouと言い、その語源となっている。	釘→刺激→香辛料（芳香性健胃薬）、痛みを釘で制す（鎮痛作用）。 カレーやチャイなどの香辛料としても使われる。
52		チンピ/陳皮	陳：「古い」の意。陳旧なものが品質が良いということから。	みかんの皮を干したのもの。みかんの良い香りがする生薬。
53	ビャクジュツ/白朮	朮：「オケラ」の意。根が白い。日本では蒼朮よりよく使われる。	補気薬。京都の八坂神社で元旦に執り行われる「白朮祭（おけらさい）」は有名。祭では葉草のオケラをたいて邪気を払う。	
54	瀉下剤	アロエ		ヨーグルトにも使われていることから分かるように、穏やかに便秘を解消する。
55		ケンゴシ/牽牛子	この高価な「種子」を手に入れるために「牛」を「牽（ひ）」い ていき謝礼にしたことから。	アサガオの種→コロコロ便に形状が似ている→便秘薬
56		センナ		センノシドはセンナに含まれる瀉下成分。
57	便秘薬、婦人薬	ダイオウ/大黃	「形が大きく黄色い根茎を持つ」という意味だと言われている。	大きい黄色→便→便秘薬
58	整腸剤	ケツメイシ/決明子	「目に明かりを与える種子」の意。	ミュージシャンのケツメイシは、「全てを出し切る」ということでこの名をつけたと言われている（後付けとも…）。整腸の他、目の症状にも使用。
59		ゲンショウコ/現証拋	現に証拠がある＝どんな下痢にもすぐに効果がある、の意。	

外皮用の生薬

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
60	外皮用薬	アルニカ		育毛剤によく含まれる。
61	外皮用薬、歯痛用薬	サンシシ/山梔子	梔子は訓読みでクチナシと読む。基原植物のクチナシ（口無し）は、果実が熟しても裂開しないことから。	口無し→傷無し→抗炎症作用、鎮痛作用

循環器系症状に使う生薬

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
62	強心薬	シンジュ/真珠		石や貝(Ca)→ずっしりしている→鎮静作用 体の熱を取る（鎮痛、鎮静）と言われる。【参考】牛黄[18]
63		センソ/蟾酥	虫偏の蟾という字は「ヒキガエル」という漢字。	いわゆるガマの油。ムツゴロウさん曰く、観察中のカエルの油をなめたところ、体がしゃんとして元気になったが、後日これに強心作用があることが発見されたとのこと。
64		ブシ/附子	毒に使うときは「ぶす」、生薬の時は「ぶし」。顔面の神経麻痺のため、ブスの語源となったと言われる。	心収縮力を上げる。トリカブト保険金殺人事件の原因植物。減毒して使用しないと心不全により死に至ることもある。
65	強心薬、滋養強壮保健薬	ロクジョウ/鹿茸	鹿の角（＝茸）の意。	若い鹿の角→男性器のイメージ→強壮・強精薬
66	循環器系用薬	コウカ/紅花	花穂が赤いため。	紅花は赤い→血に似ている→血流改善

滋養強壮に使う生薬

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
67	滋養強壮保健薬	オウギ/黄耆	耆：「老人」の「日」と書いて、「長（おさ）」の意。黄色い補薬の長という意味。	黄色の長（リーダー）→パワフル→精力剤 中国では人参以上に人気のある、強壮目的で使われる生薬。
68		サンシュユ/山茱萸		
69		サンヤク/山薬	山で取れる薬（イモ）の意。	ヤマイモ（自然薯）やナガイモを乾燥させたもので、昔から強壮剤として使われてきた。
70		タイソウ/大棗	大きなナツメ（棗）。	【参考】酸棗仁[10]
71		ハンピ/反鼻	中国でハンピとして使われるヘビの鼻が反り返っているため（日本ではマムシが使われるので反っていない）。	蛇→マムシのイメージ→滋養強壮薬
72	滋養強壮保健薬、強心薬	インヨウカク/淫羊藿	「淫」らな「羊」の「葉」という意味。「藿」は豆類の若い葉のこと。	雄の羊がイカリ草を食べると1日に100回交尾する→精力剤
73	滋養強壮保健薬、解熱鎮痛薬	ニンジン/人参		
74	滋養強壮保健薬、瀉下剤	ヨクイニン/薏苡仁		別名：鳩麦→ポツポツできたいぼやコロコロ便に形が似ている→いぼ、便秘などに使用 体内の水分調節をする生薬で関節痛やむくみなどにも使用。

痔に使う生薬

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
75	痔用薬（内外用）	セイヨウトチノミ		デンプンとサポニンやタンニンが含まれる。
76	痔用薬（内用）	カイカ/槐花	槐：エンジュと読む。「エンジュの花」の意。	槐は「木」に「鬼」と書く→魔よけの木→止血効果→長生き（延寿）
77	痔用薬（内用）	カイカク/槐角	槐：エンジュと読む。「エンジュの果実」の意。	まれに「延寿（えんじゅ）」の文字があてられる。
78	痔用薬（内）、健胃薬	オウゴン/黄芩	根の断面が黄色であることから。黄金＝コガネバナと覚える。	
79	痔、口内炎用薬（外）	シコン/紫根	根が紫色であることから。	炎症を起こして紫色になった患部に使うイメージ→抗炎症剤 ムラサキ科はラテン語で「ボラジネシア」と言い、ボラギノールという痔の薬の名の由来である。

泌尿器系の生薬

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
80	泌尿器用薬	ウワウルシ	uva = ウワ：ぶどう（コケモモ） ursi = ウルシ：熊 ラテン語	
81		カゴソウ/夏枯草	夏になると花穂だけが枯れたようになることから。	夏→涼しくする→利尿作用 中国南方では、熱い夏に暑気払いとして定番の涼茶に入れる薬草のひとつ。
82		キササゲ	野菜のササゲに似た長さ30cm程の果実を付けることから。	
83		サンキライ/山帰来	重篤な梅毒の患者は「山」に捨てられたが、これを飲んで治って「帰って来た」という言い伝えから。	梅毒患者が山から帰って来る→利尿効果による解毒作用 昔は性病である梅毒の治療に使われていた。
84		ソウハクヒ/桑白皮	「桑の木の根の白い皮」の意。	利尿・去痰作用で知られる。桑の実はマルベリーと呼ばれる。
85		モクツウ/木通	蔓（つる）を切って息を吹くと空気を通ることから。	木がストロー状になっている→（気・血・）水が通りやすくなる→利尿作用 アケビは果実が開裂する「開け実」から。「開く＝通りやすくなる」イメージ。
86	泌尿器用薬、婦人薬	ブクリョウ/茯苓	苓：ぼとぼと落ちるの意	ぼとぼと落ちる→利尿作用 きこの一種。

婦人科系の生薬

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
87	婦人薬、強心薬、小児鎮静薬	サフラン	「黄色」を意味するアラビア語のzafranより。	サフランライスに使われる黄色色素。婦人病に使われる。
88	婦人薬、解熱鎮痛薬、風邪薬	コウブシ/香附子	塊茎の形が生薬の附子に似て、香りがあることから。	ハマスゲは全世界どこでも生え、最も有害な雑草との汚名もある。女性のための生薬の代表格で、神経症（ヒステリー）などに使われる。
89	婦人薬、解熱鎮痛薬、風邪薬、滋養強壮保健薬	センキュウ/川芎	川：四川の川。 芎：葉柄が弓状に曲がっていることから。	すべて補血薬で、女性用漢方によく使われる生薬。補血剤の基本方剤である「四物湯」は、センキュウ、ジオウ、トウキの3つにシャクヤクを足したもの。
90	婦人薬、滋養強壮保健薬	ジオウ/地黄	「黄色く肥大した根」の意。起源植物、赤矢地黄は、花の形が矢に似ていることから。	・千芎：川の流れのように血流促進。 ・地黄：赤い矢のように血流促進。
91	婦人薬、痔用薬（内用）、滋養強壮保健薬	トウキ/当归	好きな男の人が「当（まさ）」に「帰る」の意。婦人が飲むと健康になり美しくなることから。	・当归：血色が良くなって美しくなり、好きな人が帰ってくる。

その他の生薬

No.	薬効群	生薬名	生薬名の由来	覚え方
92	毛髪用薬（外用）、解熱鎮痛薬	チクセツニンジン/竹節人参	竹節：根茎に竹のような節があることから。 人参：根茎がニンジンのようにブククリしていることから。	
93	毛髪用薬（外用）	カシュウ/何首烏	「何」さんが飲んで「首」から上が「烏」のようになったことから。	脂質代謝を改善する作用がある。
94	毛髪用薬、歯槽膿漏薬（外用）	ヒノキチオール		～オールの語尾は、殺菌・消毒作用を持つものが多い。例）エタノール
95	その他	サンザシ/山査子		さくらんぼのような赤い実。消化酵素を含み、健胃薬として使われる。山査子酒が有名。
96		セッコウ/石膏		石→ひんやりしている→体を冷やすための清熱剤
97		レンギョウ/連翹	黄色い花をびっしりと付けて咲くところから。	びっしり連なる実→菌のイメージ→抗菌作用、鎮痛（抗炎症）作用

かぜ症状に使う生薬（解熱鎮痛薬、咳止め、鼻炎薬、うがい薬）と小児鎮静薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原 <small>ピンク色は植物以外が基原</small>	部位	特徴
1	解熱鎮痛薬	ポウイ/防己	ツツラフジ科	オオツツラフジ	蔓性の茎及び根茎	利尿作用、局方収載のポウイ（煎薬）は筋肉痛、神経痛、関節痛に使用
2	解熱鎮痛薬、風邪薬	カクコン/葛根	マメ科	クズ	周皮を除いた根	解熱作用、鎮痙作用
3		ショウマ/升麻	キンポウゲ科	サラシナショウマ、フキショウマ、コライショウマ、オオミツバショウマ	根茎	発汗、解熱作用、消炎作用、解毒
4		シリユウ/地竜	フトミズ科	Pheretima aspergillum Perrier	内部を除いたもの	熱さまし、感冒時の解熱
5		ポウフウ/防風	セリ科	ポウフウ	根、根茎	発汗作用、解熱作用、鎮痛鎮痙
6	解熱鎮痛薬、痔用薬（内用）	サイコ/柴胡	セリ科	ミシマサイコ	根	抗炎症作用、解熱作用、鎮痛作用
7	解熱鎮痛薬、婦人薬、胃腸鎮痛鎮痙剤	シャクヤク/芍薬	ボタン科	シャクヤク	根	鎮痛鎮痙作用
8	解熱鎮痛薬、婦人薬、内用痔薬	ボタンピ/牡丹皮	ボタン科	ボタン	根皮	鎮痛鎮痙、鎮静作用
9	催眠鎮静薬	カノコソウ/鹿子草	オミエナシ科	カノコソウ	根茎、根	神経興奮抑制、緊張緩和、婦人薬、解熱鎮痛薬にも使用
10		サンソウニン/酸棗仁	クロウメモドキ科	サネブトナツメ	種子	
11		チャボトケイソウ	トケイソウ科		開花期の茎、葉	
12		チョウトウコウ/釣藤鈎	アカネ科	カギカズラ、ウンカリア、シネンシス、ウンカリア・マクロフィラ	とげ	
13		ホップ	アサ科	ホップ	成熟球果状の果穂	
14	小児鎮静薬、強心薬	ジャコウ/麝香	シカ科	ジャコウジカのオス	ジャコウ腺分泌物	緊張や興奮を鎮める、血液循環促進・強心作用、呼吸中枢刺激、意識をはっきりさせる
15		ジンコウ/沉香	ジンチョウゲ科	ジンコウ	辺材の材質中に黒色樹脂が沈着した部分	鎮静作用、健胃作用、強壯作用
16		レイヨウカク/羚羊角	ウシ科	サイカレイヨウ	角	緊張興奮緩和
17	強心薬	リュウノウ/竜腦	フタバガキ科	リュウノウジュ	樹脂	中枢神経興奮作用
18	小児鎮静薬、強心薬、滋養強壮保健薬	ゴオウ/牛黄	ウシ科	ウシ	胆嚢結石	緊張や興奮を鎮める、血液循環の促進、強心作用、血管拡張による降圧効果、解熱
19	風邪薬、鎮咳去痰、鼻炎薬	マオウ/麻黄	マオウ科	マオウ、チュウマオウ、エフェドラ・イクイセチナ	地上茎	交感神経刺激作用、依存性あり

20	風邪薬、鎮咳去痰、鼻炎薬、 胃腸薬、甘味料	カンゾウ/甘草	マメ科	ウラルカンゾウ、グリキリザ・グラ ブラ	根、ストロン、皮切りカンゾウの 場合あり	グリチルリチン酸がステロイド骨格に似ているため抗炎症作用あり。偽アルドステロン症 に注意、むくみのある人・高齢者・心臓病・腎臓病・高血圧の人は注意
21	鎮咳去痰薬	オンジ/遠志	ヒメハギ科	イトヒメハギ	根	去痰作用
22		セネガ/美遠志	ヒメハギ科	セネガ、ヒロハセネガ	根	
23		オウヒ/桜皮	バラ科	ヤマザクラ、その近縁植物	周皮を除いた樹皮	
24		シャゼンソウ/車前草	オオバコ科	オオバコ	花期の全草	去痰・利尿作用
25		セキサソ/石蒜	ヒガンバナ科	ヒガンバナ	鱗茎	去痰作用
26		キキョウ/桔梗	キキョウ科	キキョウ	根	鎮咳去痰作用
27		キョウニン/杏仁	バラ科	ホンアンズ、アンズ	種子	代謝物の一部が延髄の呼吸中枢・咳嗽中枢を鎮静、鎮咳薬
28		ナンテンジツ/南天実	メギ科	シロミナンテン、ナンテン	果実	鎮咳作用
29		バクモンドウ/麦門冬	ユリ科	ジャルヒゲ	根の膨大部	鎮咳去痰作用、滋養強壮作用
30		ハンゲ/半夏	サトイモ科	カラスピシャク	コルク層を除いた塊茎	中枢性の鎮咳作用、制吐作用
31	鎮咳去痰薬、滋養強壮保健 薬	ゴミシ/五味子	マツブサ科	チョウセンゴミシ	果実	鎮咳作用
32	鼻炎用内服薬	ケイガイ/荊芥	シソ科	ケイガイ	花穂	発汗、解熱作用、鎮痛作用、鼻炎
33		サイシン/細辛	ウマノスズクサ科	ウスバサイシン、ケイリンサイシン	根、根茎	鎮痛作用、鎮咳作用、利尿作用、鼻閉改善
34		シンイ/辛夷	モクレン科	タムシバ、コブシ、ポウシュンカ、マグリア・ス フレンゲリ、ハクモクレン	つぼみ	鎮静作用、鎮痛作用
35	鼻炎用内服薬、風邪薬	ベラドンナ	ナス科	オオカミナスビ	草本、根	抗コリン作用
36	うがい薬、健胃薬	ウイキョウ/茴香	セリ科	ウイキョウ	果実	うがい薬：芳香による清涼感、芳香性健胃薬
37	うがい薬、歯槽膿漏薬	カミツレ	キク科	カミツレ	頭花	抗炎症作用、抗菌作用、発汗・抗炎症を目的として風邪薬にも
38		ミルラ	カンラン科	ミルラノキ	樹脂	咽頭粘膜引き締め（収斂）作用、抗菌作用
39		ラタニア	クラメリア科	クレメリア・トリアンドラ	根	咽頭粘膜引き締め（収斂）作用、抗炎症

胃腸症状に使う生薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原 <small>ピンク色は植物以外が基原</small>	部位	特徴
40	胃腸薬、制酸剤	ボレイ/牡蠣	イボタガキ科	カキ	貝殻	炭酸カルシウム
41	苦味健胃薬 ※味覚（苦味）により反射的に唾液分泌や胃液分泌を促すため、オブラート使用不可	オウバク/黄柏	ミカン科	キハダ、フェロデンドロン・キネンセ	周皮を除いた樹皮	バルベリン含む
42		オウレン/黄连	キンポウゲ科	オウレン、コプテイス・キネンシス、コプテイス・テータ、またはデルトイデア	根をほとんど除いた根茎	
43		ゲンチアナ	リンドウ科	ゲンチアナ	根、根茎	
44		センブリ/千振	リンドウ科	センブリ	開花期の全草	
45		リュウタン/竜胆	リンドウ科	トウリンドウ	根、根茎	
46		ユウタン/熊胆	クマ科	ヒグマ、その他近縁植物	胆汁	小児鎮静剤、強心薬としても使用
47	芳香性健胃薬 ※嗅覚（芳香）により反射的に唾液分泌や胃液分泌を促すためオブラート使用不可	ケイヒ/桂皮	クスノキ科	シンナモムム・カシヤ	樹皮、一部周皮を除いたもの	発汗促進、解熱、風邪薬にも配合
48		コウボク/厚朴	モクレン科	ホウノキ、カラホオノキ	樹皮	
49		ショウキョウ/生姜	ショウガ科	ショウガ	根茎	発汗促進、解熱、風邪薬にも配合
50		ソウジュツ/蒼朮	キク科	ホソバオケラ、それらの雑種	根茎	小児鎮静剤にも配合、外用で歯槽膿漏薬、口腔咽喉薬、うがい薬
51		チョウジ/丁子	フトモモ科	チョウジ	つぼみ	
52		テンピ/陳皮	ミカン科	ウンシュウミカン	成熟果皮	
53	ビャクジュツ/白朮	キク科	オケラ、オオバナオケラ	根茎	小児鎮静剤にも配合、外用で歯槽膿漏薬、口腔咽喉薬、うがい薬	
54	瀉下剤	アロエ	ユリ科	ケーブアロエ	葉	大腸刺激性便秘薬
55		ケンゴシ/牽牛子	ヒルガオ科	アサガオ	種子	
56		センナ	マメ科	チンネベリセンナ、アレキサンドリアセンナ	小葉	大腸刺激成分センノシド含む、妊婦・授乳婦は服用不可
57	便秘薬、婦人薬	ダイオウ/大黃	タデ科	ダイオウ	根茎	
58	整腸剤	ケツメイシ/決明子	マメ科	エビスグサ	種子	
59		ゲンノショウコ/現証拋	フウロソウ科	ゲンノショウコ	地上部	

外皮用の生薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原 <small>ピンク色は植物以外が基原</small>	部位	特徴
60	外皮用薬	アルニカ	キク科	アルニカ	全草	抗炎症作用、血行促進作用
61	外皮用薬、歯痛用薬	サンシシ/山梔子	アカネ科	クチナシ	果実	

循環器系症状に使う生薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原 <small>ピンク色は植物以外が基原</small>	部位	特徴
62	強心薬	シンジュ/真珠	ウグイスガイ科	アコヤガイ、シンジュガイ、クロチョウガイ	外套膜に病的に形成された顆粒状物質	鎮静作用
63		センソ/蟾酥	ヒキガエル科	シナヒキガエル	毒腺の分泌物	微量で強い強心作用：1日5mgを越えて含有するものは劇薬、局所麻酔作用：丸薬や錠剤は嚙まない
64		ブシ/附子	キンポウゲ科	ハナトリカブト、オクトリカブト	塊根を減毒加工	心筋の収縮力を高めて血液循環を改善、利尿作用、鎮痛作用、プロスタグランジン抑制作用は無い
65	強心薬、滋養強壮保健薬	ロクジョウ/鹿茸	シカ科	マンシュウ（アカ）ジカのオス	角化していない幼角	強心・強壯作用、血行促進作用
66	循環器用薬	ゴウカ/紅花	キク科	ヘコバナ	管状花	末梢血行促進、うっ血除去、局方収載のゴウカの煎薬は冷え性・血色不良に使用

滋養強壮に使う生薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原 <small>ピンク色は植物以外が基原</small>	部位	特徴
67	滋養強壮保健薬	オウギ/黄耆	マメ科	キバナオウギ、ナイモウオウギ、モウコオウギ	根	強壯作用
68		サンシュユ/山茱萸	ミズキ科	サンシュユ	偽果の果肉	
69		サンヤク/山薬	ヤマイモ科	ヤマノイモ、ナガイモ	周皮を除いた根茎	
70		タイソウ/大棗	クロウメモドキ科	ナツメ	果実	
71		ハンピ/反鼻		マムシ	内臓を取り除いた全体	強壯作用、血行促進、性功能亢進
72	滋養強壮保健薬、強心薬	インヨウカク/淫羊藿	メギ科	エビメディウム・プレビコルヌム、ホザキイカリソウ、イカリソウ等	地上部	血行促進、性功能亢進
73	滋養強壮保健薬、解熱鎮痛薬、小児鎮静薬、強心薬	ニンジン/人参	ウコギ科	オタネニンジン	根、根を湯通ししたもの	コウジン：オタネニンジンの根を蒸したものを、神経系の興奮・副腎皮質機能亢進作用により、ストレス耐性や新陳代謝を高める
74	滋養強壮保健薬、瀉下剤	ヨクイニン/薏苡仁	イネ科	ハトムギ	種皮をのぞいた種子	肌荒れ、いぼ、瀉下剤の補助成分

痔に使う生薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原 <small>ピンク色は植物以外が基原</small>	部位	特徴
75	痔用薬（内外用）	セイヨウトチノミ	トチノキ科	セイヨウトチノキ（マロニエ）	種子	血行促進、抗炎症作用
76	痔用薬（内用）	カイカ/槐花	マメ科	エンジュ	つぼみ	止血効果
77	痔用薬（内用）	カイカク/槐角	マメ科	エンジュ	成熟果実	止血効果
78	痔用薬（内用）、健胃薬	オウゴン/黄芩	シソ科	コガネバナ	周皮を除いた根	痔用薬：抗炎症作用、芳香性健胃薬
79	痔、口内炎用薬（外用）	シコン/紫根	ムラサキ科	ムラサキ	根	痔用薬：新陳代謝促進、殺菌、抗炎症、口内炎用薬：組織修復、抗菌

泌尿器系の生薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原 <small>ピンク色は植物以外が基原</small>	部位	特徴
80	泌尿器用薬	ウワウルシ	ツツジ科	クマコケモモ	葉	経口摂取後尿中に排出される代謝物に 抗菌作用あり ：尿路の殺菌消毒。煎薬として用いることもある
81		カゴソウ/夏枯草	シソ科	ウツボグサ	花穂	利尿作用
82		キササゲ	ノウゼンカズラ科	キササゲ	果実	
83		サンキライ/山帰来	ユリ科	ケナシサルトリイバラ	塊茎	
84		ソウハクヒ/桑白皮	クワ科	マグワ	根皮	
85		モクツウ/木通	アケビ科	アケビ,ミツバアケビ	蔓性の茎	
86	泌尿器用薬、婦人薬	ブクリョウ/茯苓	サルノコシカケ科	マツホド	菌核の外層を除去したもの	利尿作用、鎮静作用、健胃作用

婦人科系の生薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原 <small>ピンク色は植物以外が基原</small>	部位	特徴
87	婦人薬、強心薬、小児鎮静薬	サフラン	アヤメ科	サフラン	柱頭	鎮静作用、鎮痛作用、月経改善、局方収載のサフランの煎じ薬は冷え性、血色不良に使用
88	婦人薬、解熱鎮痛薬、風邪薬	コウブシ/香附子	カヤツリグサ科	ハマスゲ	根茎	鎮静作用、鎮痛作用、月経改善
89	婦人薬、解熱鎮痛薬、風邪薬、滋養強壮保健薬	センキュウ/川芎	セリ科	センキュウ	根茎を湯通し	血行促進、血色不良、冷え性改善
90	婦人薬、滋養強壮保健薬	ジオウ/地黄	ゴマノハグサ科	アカヤジオウ	根	血行促進、血色不良、冷え性改善、強壮、鎮痛、鎮静作用
91	婦人薬、痔用薬（内用）、滋養強壮保健薬	トウキ/当帰	セリ科	トウキ,ホッカイトウキ	根を湯通し	血行促進、血色不良、冷え性改善、鎮痛、鎮静作用

その他の生薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原 <small>ピンク色は植物以外が基原</small>	部位	特徴
92	毛髪用薬（外用）、解熱鎮痛薬	チクセツニンジン/竹節人參	ウコギ科	トチバニンジン	根茎を湯通し	毛髪用薬：血行促進、抗炎症作用
93	毛髪用薬（外用）、滋養強壮保健薬	カシュウ/何首烏	タデ科	ツルドクダミ	塊根	毛髪用薬：頭皮における脂質代謝を高め、余分な皮脂の除去
94	毛髪用薬、歯槽膿漏薬（共に外用）	ヒノキチオール	ヒノキ科	タイウンヒノキ、ヒバ	精油成分	抗菌、抗炎症作用、血行促進作用
95	その他	サンザシ/山査子	バラ科	サンザシ,オオミサンザシ	偽果	健胃、消化促進
96		セッコウ/石膏	—	硫酸カルシウムの結晶	鉱物	鎮静、解熱、腸管運動抑制、利尿作用
97		レンギョウ/連翹	モクセイ科	レンギョウ,シナレンギョウ	果実	鎮痛、抗菌作用